

最新のがん対策学ぶ

神奈川県



早期がん診断技術をテーマに開かれた
党神奈川県議団の講演会

党議団 診断技術テーマに講演会

公明党神奈川県議団 人「神奈川科学技術アカ
(鈴木秀志団長)は先こ デミー」で、血液中を循
ろ、早期がん診断を実現 環するがん細胞を1細胞
する技術をテーマにした 単位で捉えて検査する、
講演会を、横浜市内で開 新たな技術の開発に取り
催した。 組んでいる。

講師を務めた東京医科 安田教授は「がんの発
歯科大学の安田賢二教授 生要因はさまざまだが、
は、川崎市にある財団法人 この中でも転移がんが死

因の9割以上を占める」と指摘。人の血液には10ミリ当たり、数個から数百個程度のがん細胞が存在し、これが転移に関与していることを踏まえ、「転移がんの早期発見と治療法の判断を行う手法を、早急に開発することが必要だ」と説明した。このため同教授らは、従来のがん悪性度診断では不可能とされてきた、

微量の血液から転移がんを解析する技術の開発を推進。この技術が実現すれば、患者の身体的負担が少ない形で、転移がんの早期発見や手術後の再発検査が可能になり、抗がん剤の種類と投与量を適切に選択できる効果も期待されると述べた。